

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	64	事業名	農福連携事業			担当課		福祉課	
						予算区分（款-項-目-中事業）		1-4-2-1 障がい者福祉事業	
			(中事業名) 障がい者福祉事務事業			決算書ページ		- ~ -	
総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物						
	政策	2	農あるくらしの推進						
	施策	(2)	農の多様な担い手の育成						
	その他	開始年度	-						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働可	
	根拠法令等								
	関連計画	障害者基本計画							
I 基本情報	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）				
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 約2,000人		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)  【アクションプラン指標】 農作業に携わった障がいのある人の人数【単年】 【その他の指標】		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わらるのか)  障がいのある人が社会参加ができる。  (成果指標名)  農福連携に取り組む事業所のうち、農作業が障がいのある人の就労や生きがいづくりに役立つていると回答した割合		④最終成果 (大事業の将来像)  障がいのある人が就労等の社会参加を通じて地域で活躍できる。		
	【事業内容】  農業を活用した障がいのある人の雇用機会の拡大や、人手不足による耕作放棄地の有効活用のため、農福連携に取り組みます。								

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	単位	活動指標名		区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
			基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ								
			1 【アクションプラン指標】 農作業に携わった障がいのある人の人数【単年】	人	基準値	58	目標値	60	60	60	
				60		実績	61				
			2		基準値		目標値				
					目標値		実績				
			3		基準値		目標値				
					目標値		実績				
			4		基準値		目標値				
					目標値		実績				
			事業開始の背景		国において2010年代から本格的に農福連携の推進が開始。現在は、「農福連携等推進ビジョン（2024改訂版）」が策定され、これに基づく都道府県・市町村の取組が重要とされている。						
			各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由								
			R6	現在、5事業所が農作業を行っており、大きな人数の変動はない。障がいのある人が生産した作物は、販売や弁当の材料として活用され、障がいのある人の工賃向上にもつながっている。		R7					
			R8			R9					

<b>III 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）</b>  <b>成果指標（CHECK）</b>  <b>加える変化（ACTION）</b>	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
	農福連携に取り組む事業所のうち、農作業が障がいのある人の就労や生きがいづくりに役立っていると回答した割合		%	一 年度 —	→	一 年度 —	→	【現状】 R6 年度 100	→	R7 年度 100	→	R8 年度 100		
	成果達成状況		指標目標値の根拠											
	<input checked="" type="checkbox"/> A. 想定より良い <input type="checkbox"/> B. 想定どおり <input type="checkbox"/> C. どちらともいえない <input type="checkbox"/> D. 想定を下回っている													
	評価の理由、分析		事業所への照会結果を元に設定した。 ※令和6年度から指標に係る数値を確認											
	事業者の評価として、「生きがい」については評価ができるが、「就労」については工賃にはつながりにくい場合もあるとの声もあったため													
	今後の方向性			今後の方向性の理由										
	<input checked="" type="checkbox"/> A. 拡充 <input type="checkbox"/> B. 現状維持 <input type="checkbox"/> C. 縮小 <input type="checkbox"/> D. 廃止			事業者主体で取組を進めているため										
	<b>改善ポイント</b>													
	(成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)													
	見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度	
	1	農福連携事業	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	働きづらさを抱える人が体験的に就労できるよう、地域の農業者に受入れを依頼していく。									R7	
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
			3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止									

IV 費用 令和8年度予算の 方向性 (P L A N)	R8年度の費用 (R7年度比)		3年間の 推移	(単位:千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
	B	A.拡充 B.現状維持 C.縮小 D.廃止			事業費	予算	決算	予算	予算		
		理由			合計額	0	0	0	0		
	予算事業として取り組む予定はないが、 必要に応じて事業所の取組の現状把握等 を行う。			(内 国費)							
積算額		R7年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、 (R6年度予算額) >									
				なし							